

## 16 第3次中期財政計画の進捗状況

第六次総合計画を踏まえ、中期的な財政規律を定めることにより、財源の効果的な配分と財政の健全性を維持するため、平成29年度に第3次中期財政計画（計画期間：平成30年度～令和4年度）を策定しました。

平成30年度の実績は次のとおりです。

### 1 平成30年度の収支状況

（単位：億円）

	収入	支出	形式収支
計画値	972.7	969.5	3.2
実績値	979.3	957.8	21.5

収入は、前年度繰越金（計画値＋23.9億円）を始め、諸収入（計画値＋4.0億円）、個人市民税（計画値＋3.4億円）、地方交付税（計画値＋2.8億円）などの影響により計画値を6.6億円上回りました。なお、市債については、建設事業に係る対象事業費が見込みを下回ったことや、将来負担の抑制の観点から一部の市債の発行を見送ったことなどに伴い、計画値を16.2億円下回りました。

支出は、財政調整基金の積立額（計画値＋10.9億円）が計画値を上回りましたが、一方で、熊野桜佐土地区画整理事業や都市交流拠点整備事業などを始めとする普通建設事業費が計画値を下回る（計画値△10.7億円）とともに、医療福祉費や障がい者給付費を始めとする扶助費が計画値を下回る（計画値△8.5億円）などしたことから、全体で計画値を11.7億円下回りました。

### 2 目標達成への進捗状況

#### ① 計画期間中の実質収支の黒字を維持

【実質収支】

（単位：億円）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実績値	17.8				

※実質収支とは、「収入－支出」から「翌年度へ繰越すべき財源」を控除したものです。

#### ② 全会計における市債残高の100億円削減

【市債残高】

（単位：億円）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	削減額
実績値	1,387	1,387					0

#### ③ 財政指標の維持

【財政健全化判断比率】

（単位：％）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
将来負担比率	44.5	33.2				
実質公債費比率	4.6	4.2				